

平成 24 年度 事務事業事後評価調書（平成 23 年度事業）

整理番号 5 — 39

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	重度心身障害者医療給付事業									
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		社会福祉係				
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長				
氏名	山崎佳之		氏名		渡部憲一					
事業の概要	重度心身障がいの方の医療費（医療保険適用分）の一部を給付する。原則1割の自己負担があるが、非課税世帯の場合は自己負担が軽減される。所得制限有り。					全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度～ 24 年度)				
						事業費	国・道支出金	32,410 千円		
							地方債	千円		
							その他	30 千円		
							一般財源	32,611 千円		
							事業費計	65,051 千円		
実施方法	■直営		民間委託	その他 ()						
第5期総合計画(前期)		■登載事業	非登載事業	優先度	B					
事業の位置付け	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～							
	基本施策	9	障がい者支援の充実							
	単位施策	1	自立支援対策の推進							
	事務事業の種類	■自治事務	法定受託事務							
	その他計画・根拠等	雄武町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例								
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)				
	国・道支出金	3,122 千円	3,419 千円	3,610 千円	3,156 千円	5,279 千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他財源	1,737 千円	1,517 千円	1,235 千円	1,528 千円	10 千円				
	雄武町負担額(一般財源)	3,315 千円	3,365 千円	3,846 千円	3,134 千円	5,334 千円				
	合計	8,174 千円	8,301 千円	8,691 千円	7,818 千円	10,623 千円				

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	重度心身障がい者		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	障がい者の自立を求める意識が強まる一方で障がい者を取り巻く環境は未だ不利なものが多く、改善が求められている。		受給者数	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	障がい者の医療費支援を行うことで、疾病の早期診断、早期治療に繋がり、障がい者の健康増進と生活の安定化が図られる。		① 受給者数	目標年度 平成23年度 目標値 87 名 実績値 87 名 達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	障がい者の医療費を軽減することで、生活の安定と本人の自立意識の高揚及び社会活動への参加促進に繋がる。		②	目標年度 目標値 実績値 達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
①申請、受給者証の発行	申請を受理し認定者へ受給者証を発行した。それを基に医療機関では対象者を判断し医療費を軽減した。			
②医療費の支出	医療機関が軽減した医療費の請求書を国保連合会へ提出、その請求に基づき、国保連合会が医療費を一時負担して、後日、国保連合会から町へ請求され、支払処理を行った。			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	北海道医療給付事業の一つである。重度心身障がい者の医療費軽減を図って、障がい者とその家族の生活基盤の安定を目的に、医療費を公費負担するものであり必要性は高い。
必要／概ね必要／課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	
有効／概ね有効／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	対象者の医療費を公費負担することで、障がい者とその家族の経済的支援及び健康と福祉の増進が図られている。

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	
効率的／概ね効率的／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	福祉医療システムを活用し、事務の効率化を図った。

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	
公平／概ね公平／公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	条例に基づく医療給付であり、受益が一部に偏ることはない。

4 総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適當 等

B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

重度の障がい者に対する医療費軽減は生活と福祉の向上を図るうえで、計画どおり事業を進めることが適當である。

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
北海道医療給付事業のひとつであり、疾病的早期診断と早期治療を促進し、重度の障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため必要性の高い事業である。		

* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--